

☆交通指導員活動状況☆

尾道市交通指導員さんを訪問しました。

7月15日尾道市立浦崎小学校において、谷村さん、富田さん、貞森さんの3名が、夏休み前の3年生を対象とした自転車教室を実施しておられました。

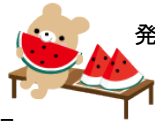
まず最初に、体育館で、子供たちに自転車点検の仕方や自転車の正しい乗り方について講習されました。講習では、安全確認の大切さや交通ルールを守ることなどについて、繰り返し説明しておられました。体育館での講習の後は校庭に出て、子供たちが講義で学んだことについて実践していることを確認しました。

3人の交通指導員さんたちは、子供たち一人一人に声を掛け、細かく丁寧に指導しておられ、子供たちも、指導に従って走行していました。当日は気温が30度を超える大変暑い中での自転車教室でしたが、子供たちは、元氣いっぱい受講していました。

尾道市の交通指導員さんは、年4回実施される各季の交通安全運動期間中の交通安全指導をはじめ、市内に28ある小学校で、4・5月は新入生対象の交通安全教室を、6・7月は3年生対象の自転車教室を、それぞれ実施されています。その他、保育園に向いて幼児向けの交通安全教室も実施しておられます。

指導員歴3年目の富田さんは、「最近では、自転車に乗ることが苦手な子供が多くなっていますが、教室では上手に乗ることが、上手な子供が多くなっています。教室では上手に乗ることが、上手に乗ることよりも、長く見て安全に乗ること」を第一に指導しています。」と仰っていました。

また、退職を機に指導員になられた谷村さんは、「かえってこちらが子供に元気をもらっています。」と、貞森さんは、「行く学校によって子供の反応が色々で、仕事が楽しいです。」と仰っていました。



←体育館での講習状況

↓ 校庭での実践型自転車教室の状況



10月2日(金)県庁で、交通指導員研修会を開催します。詳細は各市町担当部署を通じて御案内中ですので、奮って御参加ください。

お知らせ

台風・大雨時の注意事項

今回は、台風や大雨の時、やむを得ず車を運転する時の注意事項について解説してみます。

★まず、台風接近時に事前準備しておくこと

- ① ワイパーブレードの点検(交換)
 - ② ウォッシュ液の点検(補充)
 - ③ タイヤの空気圧・溝・亀裂等の点検
- 特に、スタッドレスタイヤ(冬用タイヤ)は、濡れた路面において、夏用タイヤよりも滑りやすくなります。
- 早めに、夏用タイヤに交換しておきましょう。

★雨の日は、当然、路面が濡れています。

路面が濡れていると、制動距離(車が止まるまでの距離)が乾燥した路面と比べて長くなります。

- ① 雨の日は、速度を落とす
 - ② 車間距離を十分取る
 - ③ 急ブレーキ・急加速・急ハンドルをしない
 - ④ 日中でも前照灯を点灯する
- などにより、雨の日の交通事故を防ぎましょう。

★高架下(いわゆるアンダーパス)などでは、

冠水のおそれがあります。大雨の時は、そういった場所は避けて運転しましょう。

★台風の際に、強風の影響を受けやすい場所

- ① トンネルの出入口
- ② 海岸沿い
- ③ 橋の上



※強風時や大雨の時は運転しないのが一番ですが、やむを得ず運転する場合もあるので、事前準備をしっかり行い、また、運転する際には、細心の注意を払って運転しましょう。

秋の全国交通安全運動

☆実施期間

九月二十一日（月）～三十日（水）

☆運動の基本

「子供と高齢者の交通事故防止」

☆運動の重点

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
 （特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）
- ・ 夕暮れや、夜間に出かける時には、反射材を着用しましょう。
- ・ 自転車に乗る時は、早めにライトを点灯しましょう。

○ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ・ 自動車に乗ったらシートベルトを着用しましょう。
- ・ チャイルドシートを正しく着用しましょう。

○ 飲酒運転の根絶

- ・ 酒を飲んだら絶対車を運転しない。
- ・ 車を運転する人にはお酒を勧めない。



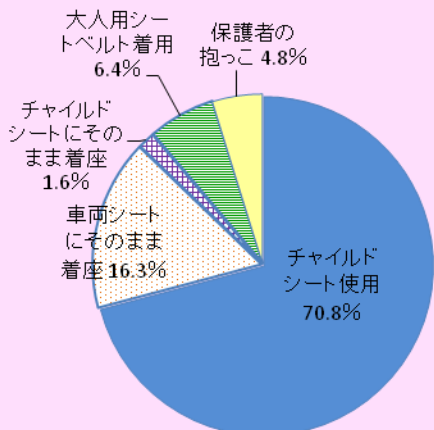
秋の全国交通安全運動開始式等を実施します！

9月30日（水）は
交通事故死ゼロを
目指す日！



行事名	日時・場所	内容
開始式	9月18日（金） 午後1時30分～ 県庁正面駐車場	・県交通対策協議会代表による交通安全宣言 ・交通安全自動車パレード出発式
街頭キャンペーン	9月18日（金） 午後2時10分～ 本通り商店街～ アリスガーデン	キッズパレード（幼稚園児約100名と共に、キラリ☆マン、モシカくん、ヒコアが参加） 交通安全の啓発品の配布

6歳未満のチャイルドシートの取付け・着座状況



子供を守るチャイルドシート

適正に使ってこそ安全なチャイルドシート

チャイルドシートは交通事故の被害から子供を守ります。
子供の成長にあった安全なチャイルドシートを適正に使用しましょう！

☆チャイルドシートを使用しない場合の危険性

▽チャイルドシート不使用者の死亡重症率

チャイルドシート使用者の約2.1倍

▽「抱っこ」の危険性

時速50kmで衝突した場合、子供の体重は実際の約30倍にもなります。

腕の力では抱えきれないので、天井やフロントガラスに激突する危険があります。

☆大人のシートベルトや不適正な着用の危険性

きちんと拘束されないため、シートベルトからすり抜け、飛び出したりします。